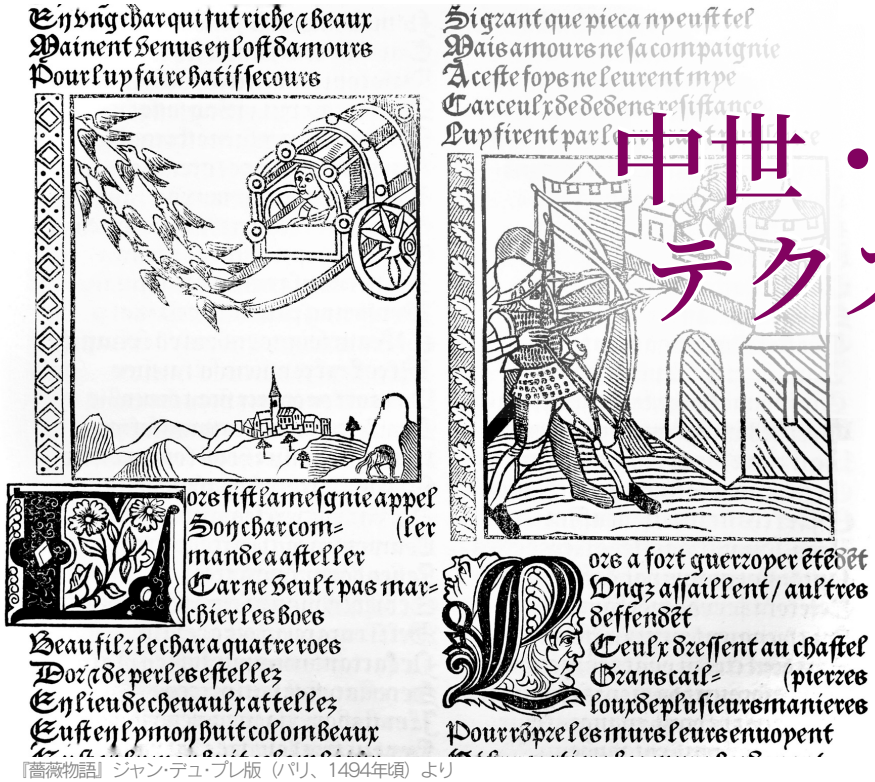

『薔薇物語』ジャン・デュ・ブレ版（パリ、1494年頃）より

日仏文化講座

中世・ルネサンスのテクストとイメージ

写本から揺籃期本へ

報告者　加藤磨珠枝（立教大学）
　　髙木麻紀子（東京藝術大学）
　　高名康文　（成城大学）
　　髙宮利行　（慶應大学名誉教授）
　　宮下志朗　（東京大学名誉教授）
司会　篠田勝英　（白百合女子大学名誉教授）

2023年2月25日(土) 13:00-17:00

日仏会館ホール、オンライン(同時配信)　※要事前申込

手写本の細密画が技法としても表現様式においても頂点に達したのは15世紀ですが、ほぼ同じ時期に印刷術の実用化が始まり、書物の革命ともいうべき大きな変化が生じました。新しい技術は同一物の複製を可能にして情報伝達の質と量を飛躍的に高めましたが、その一方で細密画の豊かな色彩が木版画の白と黒二色に取って代わられます。当初、活版印刷は字体にしてもページレイアウトにしても手写本の再現を目指していたのですが、やがて印刷物として独自の発展を遂げることになります。こうした変化を含め、中世とルネサンスにおけるテクストとイメージの諸相、両者の関係についてさまざまな角度から考察を試みます。

日　時：2023年2月25日（土）13:00-17:00
会　場：日仏会館ホール（渋谷区恵比寿3-9-25）・オンライン（zoom配信）
参加費：【ホール参加】一般1,000円、学生500円、日仏会館会員無料
　　【オンライン参加】一般1,000円、日仏会館会員・日仏会館学生オンラインメンバーシップ無料
言　語：日本語

お申込み：Peatix 公益財団法人日仏会館ページ

【ホール参加】

https://fmfj-20230225.peatix.com/

【オンライン参加】

https://fmfj-20230225-en-ligne.peatix.com/

主催：公益財団法人 日仏会館